

(様式4)

令和7年3月21日

第3回 大阪市立愛珠幼稚園 学校協議会 実施報告書

大阪市立愛珠幼稚園

校園長名 藤岡 裕子

日 時	令和7年3月18日（火）15時30分～17時00分	
場 所	大阪市立愛珠幼稚園 研究室	
出席者	委員など	8名
	校園	2名
	区役所	0名
議 題	(1) 運営に関する計画・配付資料について (2) 意見交換	
協議要旨	(1)	協議の結果 ○目標及び内容について理解を得た。
		意見の概要 <p>「運営に関する計画」最終評価（案）について、園長より各年度目標について指標ごとに取組内容の報告、自己評価結果の総括を報告した。</p> <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 安全・安心な教育環境の実現 取組①については、学校安全計画に基づいて立てた安全教育の年間計画に沿って指導することで、その時期の園生活に即した安全に関する指導を実践することができた。特に、交通安全指導では、東警察署員から、豆腐を脳に見立てた実地指導があった。頭部を守る大切さを実際に見て感じたことで、ヘルメットの着用の子どもも、特に保護者は必要感を感じていた。貴重な機会となつた。 2 豊かな心の育成 取組②については、教職員間で月の安全目標を共通理解することができるため、教材を工夫したり保育室の環境を随時見直したりしながら、どのクラスでも同じ指導ができた。遊具や用具の種類に分け、分類したり整理したりできるような指導と工夫の積み重ねが現在の子どもたちの姿として表れている。 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 幼児教育の推進と質の向上 取組①については、子どもの育ちや生活、季節等を見据えた長期の保育案の作成により、様々なキャリアの教諭が見通しをもって保育を進めることができた。毎月の園だよりには、音や音楽、体を動かすことを通して、表現することを楽しむ様子を中心に、各クラスの活動や異年齢活動を掲載することで、情報を通じて重点的な取組について、保護者や閲覧されている方々に分かりやすく発信することができた。 5 健やかな体の育成 取組内容②については、異年齢や保護者と交流しながら楽しめる活動の工夫やおさんぽデー（地域散歩）など、指導や環境を工夫したことで、体を動かして遊ぶ楽しさを味わうとともに、体力向上につながった。おさんぽデーは地域への親しみを増す取組でもあった。次年度も目的地を検討し、継続したい。 5 健やかな体の育成 取組内容③については、保健教育年間計画を作成し、計9回実施した。幼児期の命（いのち）の安全教育の指導にも取り組んでおり、幼児にとってふさわしい内容を検討し、実践と

		<p>情報誌での取組発信を行った。それぞれの指導は、情報誌で発信することにより、具体的に取組を知っていただくことができ、保護者理解となっている。</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容①については、積極的な校務支援システムの活用や各研修参加をしながら、様々な取組を通し、教職員が「何を優先するか」「子どもにとって本当に必要な活動は何か」等、幼稚園教育の本質を改めて見直し、保育の進め方の検討と実践の大切さを再確認することができた。 <p>ICTを活用した業務が中心となっていく中、ICT活用の技術向上を進めていくとともに、これ以外の業務を含め、業務の効率化と精査を図り、一人一人の負担軽減に努めていくことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容②については、新任指導や教師が講師として派遣され、新任教員の多くの学びとなった。研修会への参加については、オンライン研修の機会も増えたことで参加しやすくなり、150回以上参加することができた。教育委員会主催の教員採用に関する取組に本園教員が講師として講話、プレゼンテーションを行い、採用に関する動画も配信されている。講師として派遣されたことで、一層、本市教員としての自覚と資質の向上となった。 ・ 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容③については、日々の活動の様子を学校日誌に、計151回掲載した。各自月1回程度の更新については、更新回数に個人差があるため、学校日誌作成や配布文書の設定等、各自で作業を精選し、無理なく取り組めるようにしながら更新回数の向上に努めていく。いろいろな分野の取組を発信することで、保護者のみならず市民や教育関係者等、広く多くの方々への取組理解につながった。 <p>アンケート結果では全ての項目で高い肯定的回答の割合を得ることができた。園の姿勢が評価されたと捉えている。</p> <p>今後もコロナ禍での取組、これ以降について取り入れたことについて参考ながら、本園の実態に基づき、子どもたちにふさわしい幼児期の学びを保証できるよう取り組んでいきたい。</p>
(2)	○意見交換	<p>○どの項目も非常に頑張っておられることが分かる。</p> <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な実態に合わせた教育内容を実践することで、子どもの育ちにつながっていると考える。 ・ 幼児の実態に即した安全な環境、適切な指導の大切さを確認できた。 ・ 行政と連携しての安全指導は啓発としても大変効果的である。 ・ 片付けや道を渡るときの約束など、幼稚園で学んだことをよく話している。家の中で守らないことでも園では素直に聞き入れてやっていることが伝わってくる。自転車の練習時に豆腐を用いた交通安全指導やヘルメットの大切さについて話していた。親のほうが教えられている。 ・ 行政との合同消防訓練での反省を情報共有し、今後へと生かしてほしい。普段からの意識としてもっておくと良い。 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長が綿密な指導計画に裏付けされたものであることがよく分かった。 ・ 写真や映像の影響は大きい、実際の視覚物があることで発信できる。啓

		<p>発の方法や参観の持ち方も工夫すると良いのではないか。 【学びを支える教育環境の充実】 ・ICT活用の技術向上、皆で教え合ったり協力しあったりできる体制づくりを進めてほしい。負担軽減、働き方改革について、業務の精査は園内でできることと行政と連携しなければできないことがある。簡素化できるものが必要である。教育委員会等関係機関への提出書類等も非常に多いと考える。業務量についても現場と検討していくべきと考える。</p>
協議資料		<p>本日の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度 「運営に関する計画」最終評価（案） ○「運営に関する計画」アンケート結果（1月実施） 保護者版・教職員版 計2枚 ○令和6年度 園だより（10月～3月） ○令和6年度 ほけんだより（No4、No5）
備考		・傍聴者なし